

市町村名	本部町
------	-----

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	もとぶ農産物産地形成事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章 - 3 - (7) - ア おきなわブランドの確立と 生産供給体制の強化	
担当部課名	農林水産課	事業実施 年度	令和 4	令和 6	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容
病害虫を防除し、灌水環境の課題を解決するため、パイプハウス施設に灌水設備等の付帯設備を加えた一体的な整備に対する支援を行い、農産物出荷量の向上を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計
	A. 予算現額		40,558			
B. 執行済額		40,309				40,309
うち 交付金充当額		32,247				32,247
執行率(%) (B/A)		99.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4%
執行状況の説明	執行率は99.4%であるが、不用額は事業主体の入札残によるものであり、事業は適切に執行されている。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
パイプハウス施設及び付帯設備の整備に対する 補助 4,104㎡	目標	4,104㎡				
	実績	3,956.4㎡				
生産農家 4戸	目標	生産農家 4戸				
	実績	生産農家 4戸				
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		基準値 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 年度
パイプハウス施設及び付帯設備の整備に対する 補助 4,104㎡ 生産農家 4戸	目標	4,104㎡				
	実績	3,956.6㎡				
	目標					
	実績					

		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R5年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	ピーマン収穫量8,600kg以上(10aあたり)	目標	10aあたり 8.6トン				
	実績	3,523kg					
	目標						
	実績						
状況説明	【R5年度】 本施設で生産するピーマンの収穫期は、10月頃から翌年6月頃までとなっているが、令和5年度の収穫実績には、収穫最盛期となる翌4～6月分の生産量が含まれておらず、年度内収穫量の目標達成には至らなかった。また、ピーマンは夏の暑さが和らぐ8月頃に苗を定植するが、令和5年度は、台風被害を懸念し定植時期を後ろにずらした。加えて、定植前の育苗に想定以上の時間を要したことにより、さらに定植時期が遅れ、収穫開始が遅れたことも目標達成に至らなかった要因と考えられる。次年度以降は、沖縄県北部農林水産振興センター、沖縄県農業研究センター等、専門機関から栽培技術の指導を仰ぎ、定植期前倒しの検討や、栽培技術の向上による生産量拡大を図っていく。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

【R5年度】 パイプハウス及び灌水設備等の一体的な整備により、病虫害防除対策及び灌水環境の改善が図られている。気温が最も高くなる夏季の休作期には、太陽熱による土壌消毒を行ない、病虫害等の防除作業を行なっている。	【R5年度】 ・事業主体とともに、整備した圃場を巡回し、施設及び農作物の状況を確認し、適正管理の指導を行なう。
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R5年度】 ・事業主体とともに、定期的に整備した圃場を巡回し、施設及び農作物の状況を確認する。 ・沖縄県北部農林水産振興センター、沖縄県農業研究センター等、専門機関から栽培技術の指導を仰ぎ、定植期前倒しの検討や、栽培技術の向上による生産量拡大を図っていく。
--